Creative Enzymes®

ミトジェン活性化プロテインキナーゼ

Cat. No. EXWM-3144

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素の活性化ループにおける特定のチロシンおよびスレオニン残基のリン酸化は、EC 2.7.12.2、ミトゲン活性化プロテインキナーゼキナーゼ（MAPKK）によって酵素の活性化に必要です。一度活性化されると、酵素はプロリンの後に続くセリンまたはスレオニン残基のターゲット基質をリン酸化します。すべてのMAPKの特徴的な特徴は、保存された配列Thr-Xaa-Tyr (TXY)です。ミトゲン活性化プロテインキナーゼ（MAPK）シグナル伝達□路は、細胞調節の最も広範なメカニズムの一つです。哺乳類のMAPK□路は、ホルモン（例：インスリンや成長ホルモン）、ミトゲン（例：上皮成長因子や血小板由来成長因子）、血管作動ペプチド（例：アンジオテンシン-IIやエンドセリン）、腫瘍壊死因子（TNF）ファミリーの炎症性サイトカイン、浸透□ショック、電離放射線、虚血的損傷などの環境ストレスを含むさまざまな刺激によって引き起こされる可能性があります。
別名	c-Jun N末端キナーゼ; Dp38; ERK; ERK1; ERK2; 細胞外シグナル調節キナーゼ; JNK; JNK3α1; LeMPK3; MAPキナーゼ; MAP-2キナーゼ; MAPK; MBPキナーゼI; MBPキナーゼII; 微小管関連タンパク質2キナーゼ; 微小管関連タンパク質キナーゼ; ミエリン基質タンパク質キナーゼ; p38Δ; p38-2; p42ミトゲン活性化タンパク質キナーゼ; p42mapk; PMK-1; PMK-2; PMK-3; pp42; pp44mapk; p44mpk; SAPK; STK26; ストレス活性化タンパク質キナーゼ

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.7.11.24
反□	ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。